

アプリックス社とユビキタス社、 コンパクトなネットワーク・GUIソリューション “ubiquitous widget”を共同で開発 ～タッチパネル式UIに対応した、ネットワークソリューションの開発が容易に～

2008年11月18日 東京

株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山 龍、以下「アプリックス社」と株式会社ユビキタス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:川内 雅彦、以下「ユビキタス社」)は、組込み機器において、GUI 開発とネットワーク対応が容易に実現できる次世代のソフトウェア・ソリューション“ubiquitous widget”を共同開発したことを発表いたします。

組込み機器においては、急速なスピードで、ネットワーク対応およびユーザ・インタフェースの高度化が進んでおります。このような状況を踏まえ、ネットワーク化と GUI 開発を同時に、かつ容易に開発できるソリューションが求められるようになってきました。既に携帯電話においては、共通の機能をプラットフォームとして提供する形態が一般的となっていますが、リソースが限られる産業機器や民生機器などにおいては、このようなニーズに対応できるソリューションが不在のままでした。

ユビキタス社は、「UbiquitousTCP/IP™」をはじめとして、組込み機器向けの「小さい」「軽い」「速い」ソフトウェアを提供しており、各種組込み機器に既に豊富な搭載実績をもっています。アプリックス社は、「JBlend™」をはじめとする携帯電話向けソフトウェアに豊富な実績をもち、さらなる展開として省メモリマイコン向けに独自のソリューションを開発してまいりました。“ubiquitous widget”は、このような両社のノウハウを活用することにより、高機能デバイス向けの性能を省資源デバイス向けに共同で開発したものです。

ubiquitous widget を用いることにより、アプリケーションを、ユーザ・インタフェースを提供する部分と、デバイス・ドライバなどよりハードウェアに直結した部分とを切り離して開発することが可能となります。ユーザ・インタフェースの開発は、すべてパソコン上で行うことができ、部品(widget)を組み合わせることで、簡単に組込み機器上でのルック&フィールを実現できるようになります。デバイス・ドライバなどは、既に資産として用意されているものを活用できるため、アプリケーション全体で非常に高い生産性を実現できるようになります。同時にネットワーク対応についても、従来のメモリ管理などの煩雑なデバック作業にとらわれることなく、提供している API を用いて簡単に実現できます。これらの機能を非常にコンパクトなコードサイズで実現することで、ワンチップ構成でも十分実用化が可能なソリューションとなっています。

アプリックス社代表取締役 郡山 龍は次のように述べています。

「ubiquitous widget をユビキタス社と共同開発できたことを嬉しく思います。ubiquitous widget は、アプリックスがこれまで培ってきたモバイル及び組み込みソフトウェア開発の経験をもとに開発した小型で高性能な開発用プラットフォームです。今後も、デバイスメーカーやソフトウェアベンダーの製品開発と早期の市場投入をサポートしていきます。」

ユビキタス社代表取締役社長 川内 雅彦は次のように述べています。

「今回、携帯電話や組込機器において実績のあるアプリックス社と共同でソリューションを開発できたことを嬉しく思います。両社の持つソフトウェアの強みを生かしたソリューションを提供していくことで、ネットワーク対応デバイスの市場が更に広がって行くことを期待します。」

“ubiquitous widget”は、幅広い CPU に対応することが可能で、その第一弾として、NEC エレクトロニクス株式会社製 V850 および株式会社ルネサス・テクノロジー製 SH7727 に対応した SDK の提供を開始いたします。さらに近日中にルネサス・テクノロジー社製 SH-MobileR シリーズに対応した SDK も提供していく予定であります。また、その他の CPU につきましても、順次対応を計画中です。

【UbiquitousTCP/IP とは】

「UbiquitousTCP/IP」は、ユビキタス社が独自のアルゴリズムで設計・開発した、「小さく」「軽く」そして「速い」組込み機器用 TCP/IP ソリューションです。通信に最適化したカーネル、RFC 準拠でわずか 15K バイト以下の TCP/IP プロトコルスタック、更には HTTP サーバや SMTP クライアントなどの上位アプリケーションモジュールから構成され、ホームセキュリティ機器、ポータブルゲーム機からデジタル家電まで幅広い製品にご利用いただけます。2008 年 8 月現在、全世界で 1 億本以上の出荷実績があります。

■株式会社アプリックスについて

アプリックスは、携帯電話をはじめデジタル機器用の Java™ テクノロジーにおいて世界的なリーディングカンパニーです。世界に先駆けて携帯電話向け Java サービスが始まった日本において、その創成期から株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、J-フォン株式会社(現社名:ソフトバンクモバイル株式会社)および KDDI 株式会社、3 社全ての仕様に対応した Java テクノロジーを供給してまいりました。また海外においても、韓国サムスン社をはじめ北米モトローラ社、台湾 HTC 社などへ、世界の通信事業者の仕様に対応した Java テクノロジーを供給しています。主力製品である JBlend は、携帯電話やデジタル家電において、Java アプリケーションを動作させるプラットフォームです。世界のトップメーカーに採用されており、その搭載製品の累計出荷台数は 2008 年 9 月末時点で 5 億 545 万台を超えております。

1986 年設立 / 1996 年 Java のライセンス取得 / 2003 年東証マザーズ上場 / 2004 年台湾の iaSolution と企業統合

本社: 東京 / 拠点: 横須賀、沖縄、サンフランシスコ、ミュンヘン、台北、上海、北京、ソウル、ロンドン

■株式会社ユビキタスについて

ユビキタス社は、ユビキタス・ネットワークの夢を実現することを目指して創業されました。身の回りの様々な機器が、我々が意識することなくネットワークにつながって仕事をしてくれる、そんなユビキタス・ネットワークの実現には「小さく、軽く、速い」ネットワークのソフトウェアが不可欠です。ユビキタス社は世界最小、最軽量、最速のネットワーク・ソフトウェア開発を通じて、ユビキタス・ネットワークの実現に貢献します。

ユビキタス社は、様々な機器向けに通信プロトコルスタックおよび関連ソフトウェア製品の開発、販売を行う企業です。ユビキタスの開発する通信プロトコルスタックは、卓越した技術により最適化されており、他を凌駕する「小さく軽く速い」特色を持っています。ユビキタスは、最小最軽量の通信プロトコルスタックの提供を通じて、ホームネットワークやセンサーネットワークの実現に貢献いたします。

■このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社アプリクス 広報担当

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-18-18

TEL: 03-5286-8436 FAX: 03-3204-6452

URL: <http://www.aplix.co.jp/>

株式会社ユビキタス 広報担当

〒163-0610 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 10F

TEL: 03-5908-3451 FAX: 03-5908-3452 E-MAIL: press@ubiquitous.co.jp

URL: <http://www.ubiquitous.co.jp>

※JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

※JBlendおよびこれらに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリクスの商標または登録商標です。

※その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。